

VI. ユニバーサルデザインについて（問 12～問 13）

「ユニバーサルデザイン」とは、年齢、性別、身体的特徴、国籍などの違いに関係なく、すべての人にとって利用しやすいまちづくり、ものづくり、環境づくりを行っていかうという考え方のことです。

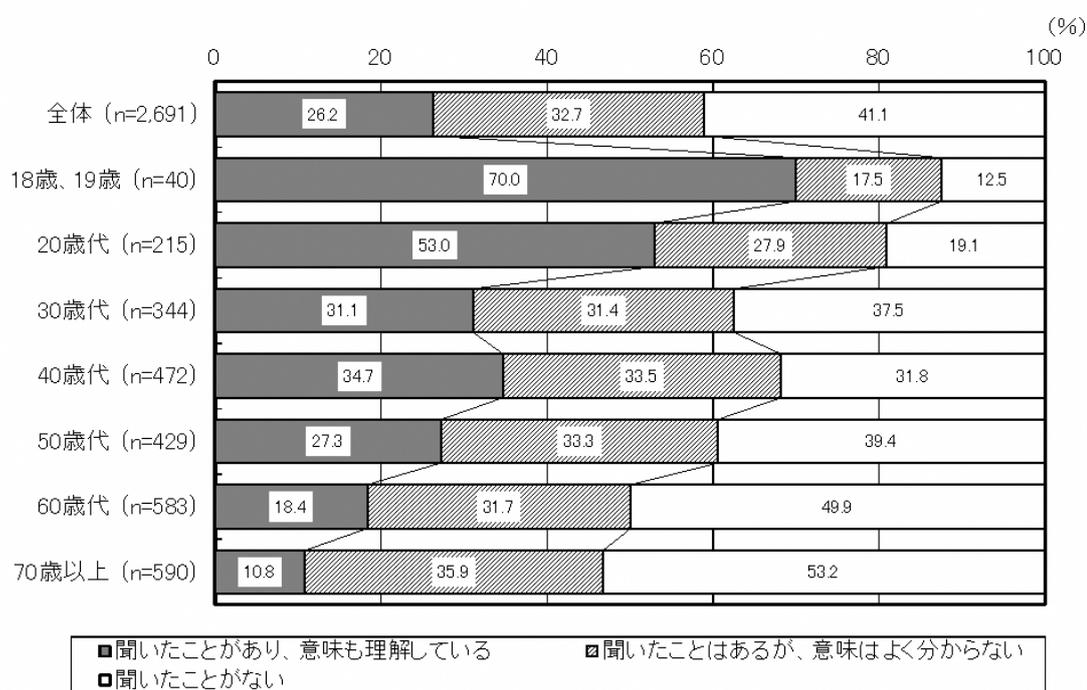
【問 12】あなたは「ユニバーサルデザイン」という言葉を聞いたことがありますか。
(n=2,691)

（1）全体的傾向

「聞いたことがない」と回答した人の割合が約 41%で、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」を合わせた「聞いたことがある」人の割合が約 59%となっている。

（2）年代別にみた特性

18 歳、19 歳と 20 歳代で、「聞いたことがあり、意味も理解している」と「聞いたことはあるが、意味はよくわからない」を合わせた「聞いたことがある」と回答した人の割合が約 81%～88%となっており、他の年代と比べ高くなっている。



【問 13】ユニバーサルデザインのまちづくりを進めるにあたって、どのような取り組みが必要であると思いますか。(複数回答：n=2,584)

(1) 全体的傾向

「誰にでもわかりやすい行き先、発車時刻などの表示と階段、乗降の段差解消などによる利用しやすい公共交通（バス、市電、駅など）の整備」と回答した人の割合が約 62%と最も高く、次いで「入口や階段のバリアフリー化、点字や多言語での案内表示など、誰もが利用しやすい公共施設の整備」(約 58%)、「段差の解消、信号表示の多様化などによる、安全で移動しやすい道路や歩行空間の整備」(約 45%)と続いている。

(2) 年代別にみた特性

各年代とも、「誰にでもわかりやすい行き先、発車時刻などの表示と階段、乗降の段差解消などによる利用しやすい公共交通（バス、市電、駅など）の整備」と回答した人の割合が約 59%～66%、「入口や階段のバリアフリー化、点字や多言語での案内表示など、誰もが利用しやすい公共施設の整備」と回答した人の割合が約 51%～69%と高くなっている。

